

(社) 日本建築学会 近畿支部
2013 年度第 4 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2013 年 12 月 20 日 (金) 15:30-18:30

場所：大阪市立大学 梅田サテライト講義室 102 教室

出席者：東 (実)、阿部、井上、甲谷、河野、小林、齊藤、竹田津、檜崎、中川 (オブザーバー)、
山中 (主査)、桃井 (幹事)、萬羽 (幹事、記録)

資料：・議事次第	資料 4-1
・2013 年度第 3 回空気環境部会議事録 (萬羽幹事)	資料 4-2
・平成 26 年度部会予算請求書 (萬羽幹事)	資料 4-3
・ISO 16814:2008 和訳 (桃井幹事)	資料 4-4
・設備と管理：特別シリーズ健全な空気環境に向けて第 3 回,第 4 回 (檜崎委員)	資料 4-5
・AIVC : CO2 as indicator for the indoor air quality General principles (桃井幹事)	資料 4-6

議事：

0. 新委員の紹介

- ・新委員として、竹田津委員 (日本カノマックス) が紹介された。
- ・オブザーバーとして、中川氏 (大和ハウス工業) が紹介された。

1. 前回部会の報告

- ・萬羽幹事より、前回部会 (2013 年度第 3 回) の内容が報告された。 [資料 4-2]
- ・追加事項として、山中主査より、今年度末に桃井幹事から小林委員へ幹事を交代することが提案された。山中主査および萬羽幹事は引き続き務めることとなった。

2. 次年度部会費申請について (報告)

- ・萬羽幹事より、前回部会での議論を元に、部会費申請を行なったことが報告された。 [資料 4-3]

3. 委員からの話題提供

- ・檜崎委員より、設備と管理に掲載された記事「特別シリーズ 健全な空気環境に向けて」についての内容が紹介された。記事中の「表 2 ASHRAE 必要外気量基準の変遷」など内容の一部は第 5 回空気環境シンポジウムにおいてもご紹介いただくこととなった。 [資料 4-5]
- ・2013 ASHRAE については、山中主査よりコピーをご提供いただくこととなった。
- ・中川氏より、第 5 回空気環境シンポジウムで発表を予定している内容として、日本健康住宅協会で行っている燃焼器具使用時の室内空気質に関する実験結果が紹介された。実験に用いられた機器の測定原理および測定範囲、NOx の生成条件等について議論がされた。空気環境シンポジウムでの発表に向けて、基準値をシンポジウムで他の発表者によって取り上げられる内容に合わせること、汚染物質の発生量の算出や燃料使用量あたりでの発生量の検討なども委員より提案された。 [資料 4-6]

4. 空気環境シンポジウムについて

- ・建築雑誌 2 月号情報ネットワーク内に会告文を掲載することが提案され、シンポジウムのタイトル、参加費等について議論された。以下の決定事項と元に、主査、幹事間で相談して会告文を提出することとなった。

第 5 回 空気環境シンポジウム 「国内外における換気・空気質基準の現状と問題点」

プログラム—第 1 部 国内外における換気・空気質基準の現状

1-1. ASHRAE (檜崎委員)

1-2. ISO (安福委員)

1-3. 国内の代表的基準 (河野委員)

第 2 部 日本における換気・空気質の問題

2-1. 開放型燃焼器具の使用に伴う問題 (中川氏)

2-2. ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、VOC の問題 (萬羽幹事)

2-3. CO₂ 1,000ppm 問題 (山中主査)

参加費/定員—会員 2,000 円, 会員外 3,000 円, 学生 500 円/100 名

…その後、2013 年 12 月 24 日 (火) に桃井幹事より、提出された。(近畿支部児玉事務局長宛て)

5. 国内外各種法令・基準における換気・空気質基準の調査報告

○ ISO16814

- ・桃井幹事より、各委員の提出した和訳コピーが配布された。各委員より、担当部分の概要について紹介された。 [資料 4-4]
- ・和訳原稿の再提出メ切は 1 月末とすることが決定した。(提出先：桃井幹事)

6. その他

- ・次回部会

日時：2014 年 3 月 3 日 (月) 14:00—17:00

場所：大阪市立大学 梅田サテライト講義室 102 講義室

部会内容：国内外各種法令・基準における換気・空気質基準の調査報告 (ISO を中心に)、
第 5 回空気環境シンポジウムについて

以上